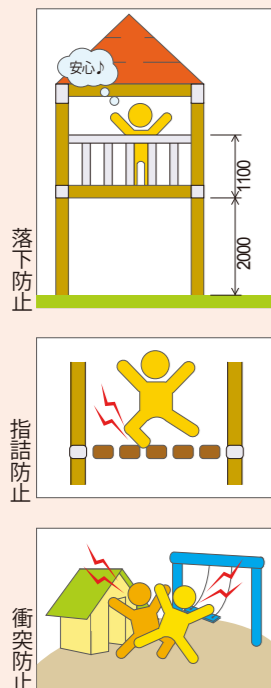


安全性の確保、素材の厳選、 設置後のメンテナンス体制も万全です。

安全性

遊具施設の設計・製作に当たっては、下表の**安全基準**を遵守しています。



項目	内容	
1. 高さ	a. 床面	0.6~1.0m : 0.6~0.8mの手摺(ガードレール)を設置する。
		1.0~2.0m : 0.7m以上の手摺(落下防護柵)を設置する。
		2.0m~ : 1.1m以上の手摺(落下防護柵)を設置する。
	b. 地盤	地面は土または芝とする。
2. すき間		指の挟み込み防止のため、8~25mmの隙間を排除する。
		身体の通り抜け防止のための隙間は100mm未満とする 身体の通り抜け可能とする隙間は230mm以上とする。
3. 角度		上向きは55°以上とする。
		首、胴体等の挟み込みを排除する。
4. 表面	a. 突起	怪我をしそうな硬い部分や、とがったものが突き出していないようにする。
	b. 仕上げ	割れ・砕けがなく、木の場合とはげやささくれ、釘、ネジなどが突き出していないようにする。
5. 構造		「日本建築学会 構造計算規準」の構造計算結果に基づいた設計とする。
6. 配置		各々の遊具の安全領域（遊具と遊具の間をその遊具で遊んでいない利用者が妨げられずに通ることができる範囲）を1.8m以上あける。

その他一般事項…(社)日本公園施設業協会の遊具の安全に関する規準(案)JPFA-S:2002に準じる。

使用部材

①木製部材

木部は主に厳選された杉材を使用します。長期間その暖かみと美しさを保つため、万全の防腐・防蟻処理(加圧注入)を施し切組加工の後、表面に撥水効果のある塗料を塗布します。



②金属部材

製品を支える躯体材や手摺等の金属部材については主にスチール材とし、入念な下地防錆処理のうえウレタン樹脂塗装を施し、耐久性を高めています。



③その他部材

樹脂部材等他の部材についても、利用者に直接影響を与える「手触り/触感」、強度を左右する「耐久性/耐候性」の両面から素材を吟味し、使用しています。



保証

保証

提案製品は遊具専門メーカーである弊社のオリジナル製品です。弊社は「社団法人日本公園施設業協会」の会員であり、本提案に含まれる施設/製品は厳しい安全基準・品質基準をクリアしていることを保証するSPマークが与えられます。また、正常な状態での使用により発生した遊具施設の故障及び破損に関しては、保証期間中、無償で修復致します。さらに完成引渡後、メンテナンスサービスを実施します。

保険

万一の事故発生に備え、施設の製作・施工において「生産物賠償保険」並びに、「請負賠償保険」に加入しています。

保障限度額

1事故あたりの保障限度額
対人 3億円
対物 1,000万円

JPFA-S:2002 適合

SP

(社)日本公園施設業協会



ツムラ標準塗装色 一覧表

色見本	使用製品	色見本	使用製品
	1.ホワイト		6.オレンジ
	2.グレー		7.レッド
	3.ブラウン		8.グリーン
	4.ピンク		9.ブルー
	5.イエロー		

※色見本は印刷のため、現品と多少異なる場合があります。

メンテナンスサービス

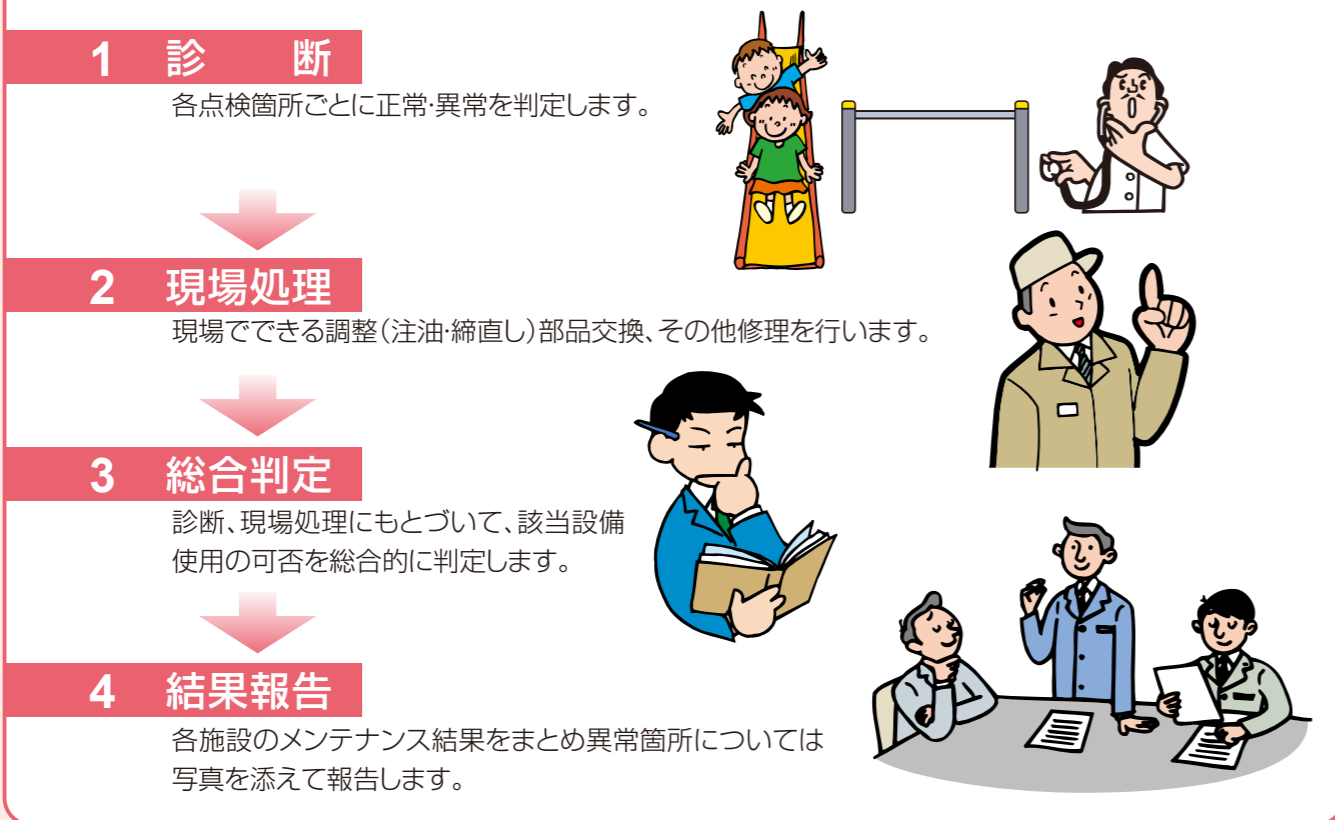
MAINTENANCE SERVICE

地域住民をはじめとして各方面から公共空間の整備、充実が求められています。そのためには「新規施設の開発」と同時に、既存施設を安全・良好な状態で維持・管理していくことが重要な課題となりますが、一方で区域内の全施設を維持・管理していくには多大な労力と専門知識が必要となります。

ツムラでは、過去の実績と製品開発のノウハウを活かし、各施設の診断から履歴管理までを含んだ総合的なメンテナンスを行っています。

また、メンテナンスの対象は、個別施設から、大型複合施設器具に至るまで幅広く対応いたします。また、特定の施設だけでなく区域内の全施設にわたる包括的なメンテナンスも承ります。ツムラのメンテナンスは、すべての施設に「安心」をお届けします。

メンテナンスサービスの過程



特長

1. 計画的な修理が行えます。

メンテナンス結果の報告にあたっては、異常箇所を指摘するだけでなく緊急度により優先順位をつけ、かつ具体的な対応策までご提案いたします。これにより計画的な修理が可能となります。また同時に突発的な高額出費を防ぎ、結果的にコストも抑えられます。

2. 部品交換、修理業務にも迅速、丁寧です。

メンテナンス後の部品交換、修理業務も一貫したサポート体制でお応えできます。なお、あらかじめご連絡いただければメンテナンスの際、同時に修理業務を行うことも可能です。

3. 賠償保険もセットされています。

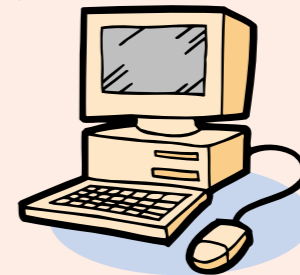
製品だけでなく、メンテナンスサービスについても賠償保険に加入しています。万が一、実施したメンテナンスに起因して設備器具の不都合もしくは事故が発生した場合、損害の補填に応じます。



統一された「保守点検表」を用い、標準化された作業手順により、専門用具、計測機器を利用してメンテナンスにあたります。これにより診断結果の精度が著しく高まります。



診断、現場処置、総合判定の各業務に損害賠償保険を合理的に組み合わせることにより、全体として低いコストで高い安全性を提供します。また、メンテナンスの実施により対応策が明確になり、計画的な修理が行えます。



同じ時期に設置した施設でも場所や使用頻度により、状態は異なります。一定期間ごとの確実なメンテナンス実施により、各設備の履歴管理・将来予測が可能となり、設備の安全性を高めます。



メンテナンス Q&A ツムラのメンテナンスサービスについての疑問にお答えします

Q メンテナンスを実施するなら一年間に何回必要?

A 基本的には、年2回のメンテナンスをおすすめします。(これは設置後の経過年数が5~10年、該当施設内に決まった管理担当者が居られないケースを想定しています)。ただし、各施設により周辺環境、使用頻度が異なるため、あくまでもメンテナンス回数のお考えください。

Q 施設が小さい/施設が新しく利用頻度が少ないからメンテナンスは必要ない?

A 施設が小規模だからといって事故発生の危険性も小さくなるとは限りません。構造的にみると大型施設とほぼ同等の危険箇所を有します。また、施設は設置後早い時期からメンテナンスを実施することにより耐用年数が長くなります。利用頻度についても長期間利用しない場合、むしろ可動部分のある器具は硬化が早まります。以上、施設が大きい/古い/利用頻度が多い施設と同様、メンテナンスが必要なのです。

Q 損害賠償責任保険の詳細は?

A ツムラの実施したメンテナンスに起因して施設の不都合もしくは事故が発生した場合、無償修理、損害補填に応じます(メンテナンス実施から1年間)。保障限度額は、対人3億円/1事故、対物1000万円/1事故となっております。

Q ツムラ以外の製品もメンテナンスの対象か?

A ご要望に応じて他社製品のメンテナンスも承ります。ただし、メンテナンスの結果、修理が必要となっても部品調達等の理由から修理を行えない場合がある旨ご承知おき下さい。

Q 施設が壊れた時に、その都度修理すればいいのでは?

A 費用の面からみるとメンテナンスは一見ムダなように思われますが、一般に修理ではメンテナンス費用の10倍以上、新設では100倍以上が必要となります。メンテナンスを行うことにより製品の耐久性が飛躍的に向上し、結果的に突発的な高額出費が防げます。また、修理必要箇所を抽出し、その優先順位(修理の緊急度合)をつけることが可能となりますので、予算の上でも無理なく計画的に対応策を実施することができます。

Q メンテナンスはただ診るだけ?

A 各施設の診断はもちろんのこと、現場処置も行います。現場処置には、注油、締め直し、調整等、施設所在地にて行える補修が含まれます。その上で使用の可否を総合的に判断し、管理ご担当者へ結果報告を行います。結果報告についても、個々の施設のメンテナンスの結果を「メンテナンス資料」としてまとめて提出致します。なお事前にご連絡頂ければメンテナンスと同時に修理を行うことも可能です(修理料金別途)。

Q 行政担当部課内(管理担当者)のメンテナンスで十分では?

A 今、実際に施設を管理されているご担当者が、該当施設の状態を一番把握されていることと思います。しかし、たとえばご担当者が異動された場合、同じ判断基準に基づいて、施設の詳細にわたりメンテナンスを継続していくのは、困難かと思われます。ツムラでは統一されたマニュアルに従い、標準化されたメンテナンスを継続的にを行います。また施設の内部の腐食や摩耗状況など、通常ではチェック困難で、かつ事故発生の大きな原因となる項目も、もろさず診断致します。そのうえ保険に加入しておりますので、作業のみならず、管理者の賠償責任についても軽減できます。